

## 第 5 班

1. タイトル：高齢者・障がい者が安心して地域で生活するために  
～権利擁護支援システムの構築へ～
2. 報告書の概要：高齢者や障がい者、特に認知症や知的障害者などの判断能力が十分でない人が、その人らしく地域で暮らし続けるために、権利擁護のしくみを円滑に運営できるよう、権利擁護システムの現状と課題を検討し、施策の方向性を取りまとめた。そして高齢社会への対応や障がい者のさらなる福祉の充実という観点から、次の提言を行った。 ①権利擁護支援センターの設置、②権利擁護支援ネットワークの確立、③権利擁護支援運営適正化委員会の設置、④権利擁護条例の制定、⑤基金の設置
3. 引用している事例：①大阪市成年後見センター（市民後見人の養成）

アンケート調査の有無：無